

もっと、あなたに響くこと。

J:COM

イベントレポート

2020年2月10日
株式会社ジューピターテレコム
株式会社ジェイ・スポーツ
株式会社 WOWOW

ラグビー元日本代表の大西将太郎とラグビー芸人しんや がさっぽろ雪まつりに登場！ 「欧州 6 カ国対抗戦 シックス・ネーションズ」、「ジャパン ラグビー トップリーグ 2020」の楽しみ方を熱弁！



<トークショーの様様>



<大西 将太郎さん>

株式会社ジューピターテレコム（J:COM、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井村 公彦）と、国内最大 4 チャンネルのスポーツテレビ局、株式会社ジェイ・スポーツ（J SPORTS、本社：東京都江東区、代表取締役社長 木下 伸）と、株式会社 WOWOW（WOWOW、本社：東京都港区、代表取締役社長：田中晃）は、アジア初開催となったラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会での熱狂と興奮も冷めやらぬ中、2020年2月8日（土）に第 71 回さっぽろ雪まつり会場内「J:COM ひろば」にて「J:COM × J SPORTS × WOWOW presents ラグビースペシャルトークショー」が開催しました。

トークショーにはラグビー元日本代表の大西将太郎、ラグビー芸人のしんや、スポーツ実況アナウンサーの矢野武が登壇し、昨今のラグビーブームや先日開幕した『ラグビー欧州 6 カ国対抗戦 シックス・ネーションズ』『ジャパンラグビー トップリーグ 2020』などについて熱く語り合いました。

<イベントレポート>

「ワールドカップがゴールではなく、これからが大事

イベントがスタートすると、大西将太郎の登場としんやのラグビーものまねで会場は一気にヒートアップ。マイナス 4 度の冷え込みにも関わらず、ラグビーファンをはじめ雪祭りを楽しむ人たちが次々と足を止めた。

早速、話題は昨年のワールドカップとラグビーブームへ。大西は「ワールドカップがゴールではなく、これからが大事。今は WOWOW、J SPORTS、J:COM が垣根を超えて ONE TEAM になり、ラグビー文化を広げられている。そして、観客の皆さんのご協力があってこそラグビーは広がっていくと思う。僕のことを嫌いになってもいいけど、ラグビーのことは嫌いにならないでください」と会場の笑いを誘った。



<ラグビー芸人しんやさん>

家に帰ってからテレビでもう一度見る“二段階観戦”がオススメ

また、昨年のワールドカップをきっかけに“にわかファン”が増えたことが話題となったが、これからラグビーを見る人たちに向けて大西は「競技場で見て不思議に思ったシーンを覚えておき、家に帰ってからテレビでもう一度見る“二段階観戦”がオススメです」とアドバイス。しんやは「まずは、3つのルールを覚えておくと良いと思います。ノックオン（ボールを前に落としてしまう反則）、スローフォワード（ボールを前に投げる反則）、ノットリリースザボール（タックルを受けて倒されたプレーヤーがボールを離さない反則）を覚えておくだけでも、試合の見方が分かってくるはず」と解説した。

注目選手は竹山晃暉選手（パナソニック ワイルドナイツ）と松島幸太郎選手（サントリーサンゴリアス）

続いて話題は、1月12日から始まった『ジャパンラグビー トップリーグ 2020』へ。注目選手として大西が挙げたのが竹山晃暉（パナソニック ワイルドナイツ）選手。

「もちろん日本代表選手は注目ですが、次のワールドカップに向けてニュースターが誕生してほしいですね」と期待を語った。しんやは、同じく竹山晃暉選手と松島幸太郎選手（サントリーサンゴリアス）をピックアップ。「彼らがボールを持ったら、圧倒的に試合が盛り上がります！」と熱弁をふるった。

優勝予想はフランス？ イングランド？

さらに、2月1日に開幕したヨーロッパのラグビー強豪6カ国が参加して行なわれる大会『シックス・ネーションズ』に話がおよぶと、大西は「ワールドカップで日本はアイルランドに勝ちましたが、実は今まで勝ったことがなかった相手でした。アイルランドはそれぐらい強く、伝統あるチーム。これからは、こういった強豪にもコンスタントに勝たなければなりません。ぜひ、『シックス・ネーションズ』を見て、次のワールドカップに向けて世界のチームの情報収集をしてほしいです」と解説。

今回の大会における優勝チーム予想について質問されると、大西は「フランスは昨年のワールドカップで若い選手を多く使っています。前回のワールドカップで優勝するよりも、2023年の自国開催大会で優勝したいという思いから経験を積ませたのだと思います。それがあって一皮向けた今、さらに強さを増していると感じます」と分析。シックス・ネーションズの第1節でフランスがワールドカップ準優勝のイングランドを破る絶好のスタートを切ったことにも現れているとも述べた。しんやは、「攻撃的なラグビーで、ワールドカップで準優勝という結果を残しているイングランド」と予想した。

ラグビーは今、WOWOW、J SPORTS、J:COMで見ることができます

イベントの最後には、ゲストそれぞれからラグビーに対する想いをコメント。大西は「これからラグビーの勝負だと思います。スポーツは、より良い社会をつくる意味でも必要なもの。ラグビーもその中の一つとして応援してほしいですね」と語りかけた。しんやは「ラグビーは今、WOWOW、J SPORTS、J:COMで見ることができます。視聴機会も増えて、ラグビーを楽しむ環境が整ってきました。皆さんも、是非ラグビーを見てください！」と熱く訴え、イベントを締めくくった。



欧州の頂点を決める『ラグビー欧州6カ国対抗戦 シックス・ネーションズ』は、WOWOW（J:COM TV 191ch,192ch）で全15試合を生中継。そして日本代表選手たちが今年も熱い戦いを見せる『ジャパンラグビー トップリーグ』はJ SPORTS 1~4（J:COM TV 405~408ch）で注目試合を徹底放送する。

なお、第71回さっぽろ雪まつり会場内「J:COMひろば」では2月11日（火・祝）まで、100ch以上視聴できる「J:COM TV」の多彩なチャンネルラインアップを生かした、音楽・スポーツ・アニメ等のさまざまなステージイベントを開催中。「さっぽろ雪まつり」にお越しの際には、「J:COM ひろば」で心に響く感動、思い出に彩りを添える体験をお楽しみください。

★『ラグビー欧州 6 カ国対抗戦 シックス・ネーションズ』

番組公式サイト (<https://www.wowow.co.jp/sports/rugby/>)

★『ジャパンラグビー トップリーグ』

番組公式サイト (<https://www.jsports.co.jp/rugby/topleague/>)

★『第 71 回さっぽろ雪まつり J:COM ひろば』

特設ページ (<https://www2.myjcom.jp/special/user/snowfes/>)

ジュピターテレコムについて www.jcom.co.jp/

株式会社ジュピターテレコム（本社：東京都千代田区）は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社70局を通じて約554万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯（敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯）は約2,168万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※世帯数は2019年12月末現在の数字です。